

# 道德授業指導力向上講座—小中学校向け 全三回コース 授業の「？」から「分かった！」へ

## ◆実践的な授業展開を学ぶ

麗澤大学生涯教育プラザを会場に、五月から三回に分けて「道德授業指導力向上講座」を実施しました。第一回と第三回の講師は広中忠昭氏、第二回は鈴木明雄氏が務めました。お二方も麗澤大学で教鞭をとられる一方、長年にわたる義務教育現場での実践、道德教材の執筆、各種委員会などでの研究と、道德教育の発展に力を尽くしてこられた第一人者です。

## ●講師プロフィール

**広中忠昭**  
前柏市藤心小学校校長。「学研」全国道德副読本編集委員、県教科指導委員などを歴任。「高学年特別の教科道德の授業づくりにチャレンジ」、明治図書月刊誌『道德教育』に執筆多数。  
**鈴木明雄**  
前東京都北区立飛鳥中学校校長。元全日本中学校道德教育研究会会長。文部科学省道德教育の充

実に関する懇談会委員。道德教育の改善に係わる調査協力研究者を歴任。「考え、議論する道德」の指導法と評価」など、著書多数。

## ①教科書を使った効果的な指導展開

—小学校教材を中心にして—  
「第一回道德指導力向上講座」は小学校の先生方を中心には講義、後半は小学校低・中・高学年三種類の教材を活用してグループに分かれての指導案作りという二部構成。後半は活発に意見交換がされました。「教科化されてから悩んでいたが、大きなヒントを得られた」「さっそうく明日から活かしていきたい」という声があり、実践的な研修の場になりました。  
参加者それぞれ、他校の先生方と意見交換できたことが大きな刺激になったようです。「肉面的な資質を育てるための実践例として、他校の情報を得るこ

とができてよかった」との言葉に象徴されるように、日ごろは交流のない、幅広い年代層の先生方との議論ができるところに、こうした場の意義を感じます。最後に、広中講師より



## ②多様な道德授業の展開と評価のポイント

第二回は、鈴木明雄講師による講座が行われ、広中講師も聴講されました。「多様な道德授業の展開と評価のポイント」をテーマに講義。豊富な映像資料と印刷の配布資料をもとに、世界各国の道德教育の解説から始まり、日本の道德教科化のポイントに至るまで、多岐にわたる講義でした。  
評価については、表現の具体

的な文例を配布資料をもとに解説。後半では、いじめを題材にした問題解決型の授業を映像付きで紹介されるなど、実践的な内容が展開され、密度の濃い時間が流れました。

## ③教科書を使った効果的な指導展開

—中学校教材を中心にして—  
第三回は締めくくりにあたり「目標」「指導」「評価」など、教科書を使った効果的な指導展開の講義。後半は、指導案作りとグループディスカッションによる深め合いがあり、多様な観点から生徒の心に迫る指導上の留意点が話し合われました。  
終了後の声としては「異校種や年代の違う先生方の意見が聞けてよかった」という感想がありました。様々な社会経験を積んだ人の意見交換は、とても意義が大きいと感じます。今後とも、全国各地でこうした学びの場が作られていくことが、道德教科化の意義を高めていくのではないかと感じました。